

平成 13 年度石川県保育士試験問題

看護学及び実習（その 1）

（解答は解答用紙に記入すること）

I 次の文を読み問 1～問 5 に答えてください。

= 3 歳児のたんぼ組の場面 = お昼寝が終わり、3 歳 4 ヶ月の A 男児は遊戯室に新しく入った積み木で遊ぶために走っていったところ、同年齢の B 女児と正面衝突をした。A 男児はワンワン泣きながら起きあがり額から血が流れていた。B 女児は仰向けにひっくり返し声をかけたが返事がなかった。たんぼ組の保育士は隣のひまわり組の保育士の応援を得て、A 男児はひまわり組の保育士が救急処置を行い、たんぼ組の保育士は B 女児の観察を行った。

〔問 1〕 たんぼ組の保育士が行った B 女児の観察で誤っているものに○をつけなさい。

1. 頭の傷やこぶがないかみた。
2. B 女児のからだを揺すりながら一生懸命に声をかけた。
3. 顔や手を振動させるしぐさがないかみた。
4. 鼻や耳から出血やさらさらした水のようなものが出ていないかみた。

〔問 2〕 衝突を起こした場所で仰向けの B 女児をみていた保育士の視線が合うと、B 女児はいきなり大声で泣き出したが保育士の行いで正しいものに○をつけなさい。

1. 意識がなかったのでとにかく救急車の手配をする。
2. そっと抱き上げ昼寝布団に移し、なだめてから安静にさせる。
3. 大声で泣き出した為、3 時のおやつプリンを与えた。
4. 遊びたがっていた新しい積み木を与え、気分をほぐした。

〔問 3〕 A 男児は左眉の上 5 cm の裂傷であったが、ひまわり組の保育士の行いで誤っているものに○をつけなさい。

1. 起きあがった男児を痛かったねと声をかけながら横臥させた。
2. 滅菌ガーゼで流れている血を拭きながら、出血部位や深さを確認した。
3. 止血のために裂傷部位を滅菌ガーゼで覆い、その上からタオルを当てしばらく圧迫した。
4. 左目をパチパチさせ、消毒を嫌がったのでキズバンドで手当てした。

〔問 4〕 2 人の保育士は事故報告を園長に行ったが、園長の指示で適切なものに○をつけなさい。

1. A 男児の傷は止血しキズバンドをして遊んでいるので、帰園時に保護者へ事故報告をする。
2. A 男児の傷は 5 cm で顔であり、保護者と連絡をとり形成外科のある病院に受診するようにする。
3. B 女児を搬送する救急車にたんぼ組の保育士を同行させ、園長は保護者に緊急連絡をした。
4. B 女児はすぐに泣いたのでこのまま様子を見て、帰園時に保護者へ事故報告をし、明日まで健康観察をすることを依頼する。

受験番号

受験番号

平成 13 年度石川県保育士試験問題

看護学及び実習（その 2）

（解答は解答用紙に記入すること）

〔問 5〕 たんぽぽ組の保育士として、子どもの健康観察で誤っているものに○をつけなさい。

1. A男児の体重は15.5kgで、身長は100.0cmであり、カウプ指数からみて身体のバランスは普通である。
2. B女児の体温を早く知りたかったので口腔検温を行い、37.0℃で心配がなかった。
3. A男児は三輪車をこぐことも好きであるが、最近はずり台にのぼり、そして、滑ることができるようになった。
4. B女児はままごと遊びで、卵焼きを作り友達と分け合って食べる。

Ⅱ 次の文を読み問 6～問 7 に答えてください。

保育園へ3日前から風邪で休んでいた2歳児の母親から、水痘でしたので引き続き休ませますという電話がありました。

〔問 6〕 保育士が電話を受けましたが、電話内容で正しいものに○をつけなさい。

1. 熱はほとんどなかったが、胸や腹に淡紅色で少し盛り上がった発疹だったので小児科へ受診した。
2. 小児科の先生から、通っている保育園に2～3週間前に水痘の子どもがいなかったかと言われた。
3. 本児の下に9ヶ月児がいるが、母親の免疫があるから大丈夫といわれている。
4. 今日は熱がないので、かゆみをとるためシャワー浴をするつもりでいる。

〔問 7〕 電話を受けた保育士は感染症の問題なので園長に電話内容を報告しましたが、園長の指導内容で正しいものに○をつけなさい。

1. 水痘の発生がみられたので、保護者用のお知らせを作成し帰園時に保護者への早期発見に努めるよう指導を行った。
2. 電話のあった2歳児は3日前より登園していないので、感染力の強い期間ではないが念のために本児の使ったおもちゃなどを消毒した。
3. 登園している園児の健康観察で、発熱や機嫌の有無にあわせて発疹と頬の裏側のコプリック斑を確かめる。
4. 新人の保育士へは水痘と突発性発疹の違いについての教育がなされたが、突発性発疹は熱やかゆみがないのが特徴である。

受験番号

平成 13 年度石川県保育士試験問題

看護学及び実習（その3）

（解答は解答用紙に記入すること）

Ⅲ 次の問 8～問10について、誤っているものに○をつけなさい。

[問 8] 子どもの症状と看護のポイント

1. 発熱 —— 水分を多く与える
2. 発疹 —— 発熱との関係を見る
3. 不機嫌 —— 母親の訴えを充分受け止める
4. 頭痛 —— 痛みに対する反応は大人にくらべて鋭い
5. 腹痛 —— 虫垂炎などは温めて痛みを和らげる
6. 下痢 —— 乳児は消化管の感染症であることが多い
7. 便秘 —— 母乳の飲み過ぎでおこる
8. 嘔吐 —— 周囲の人が騒ぎすぎない
9. 脱水 —— 口の中の乾燥の程度をみる
10. 咳 嗽 —— 嘔吐が誘発され、誤嚥しやすい

[問 9] 消毒について

1. 衣類・寝具・畳などはまんべんなく日光に当てるようにすることは物理的消毒法のひとつである。
2. 逆性石鹼液を10%溶液にしておもちゃなどの消毒をする。
3. 手指の消毒は石鹼をつけて、水道を流しながらよく洗う。
4. ヒビテンなどのクロルヘキシジンは粘膜に対して刺激が少ないので傷口の消毒に使う。

[問10] 予防接種についての注意

1. 明らかに発熱のある子どもは予防接種をうけることは適当でない。
2. 過去にけいれんのある子どもは、予防接種の判断に注意をする。
3. ポリオの予防接種はかかりつけ医のもとで、個人別接種方式で受けるのが原則である。
4. 予防接種後10分は、子どもの様子をよく観察する。

受験番号

受験番号